



環境省報道発表

令和5年6月8日（木）

令和4年度全国水生生物調査の結果及び 令和5年度の調査の実施について

<国土交通省同時発表>

1. 環境省と国土交通省では、川の生きものを指標として河川の水質を総合的に評価するため、また、環境問題への関心を高めるため、地域の皆様のご協力をいただいて『全国水生生物調査』を実施しています。
2. 令和5年度も夏休み期間を中心に調査を実施しますので、是非御参加ください。
3. また、令和4年度の結果をとりまとめましたので、お知らせします。

【添付資料】

- ・ 令和4年度全国水生生物調査結果
- ・ 参考：全国水生生物調査の概要

※ 添付資料は以下の URL から参照してください。

https://www.env.go.jp/press/press_01714.html

<詳細は次ページ以降>

内容についての問合せ先

○ 環境省水・大気環境局水環境課

代 表：03-3581-3351

直 通：03-5521-8316

課 長：大井 通博

係 長：森 美穂子

○ 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課

代 表：03-5253-8111

直 通：03-5253-8447

課長補佐：阿河 一穂

係 長：寺石 杏映

■ 全国水生生物調査とは

(1) 調査概要

河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定することができます。この調査は、子どもたちにもわかりやすく、高価な機材等を要しないことから、誰でも簡単に参加できることが大きな特長です。

また、調査を通じて身近な自然環境に接することにより身近な環境問題への関心を高める良い機会でもあり、昭和 59 年度から環境省と国土交通省が実施しています。

(2) 調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、[1]全国各地に広く分布し、[2]分類が容易で、[3]水質に係る指標性が高い、29 種を指標生物としています。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の 4 階級で水質の状況を判定します。

■ 令和 5 年度調査の実施について

令和 5 年度も引き続き、全国水生生物調査を実施します。

（お問い合わせ先）

- 各都道府県の環境部局

https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/etsuran/list_pref.html

- 各地方整備局等の窓口（一級河川直轄管理区間）

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/toiwase.html

■ 令和 4 年度調査結果概要

(1) 参加者数・参加団体・調査地点数

令和 4 年度の参加者は 34,745 人（令和元年度 53,269 人）でした。

	参加者数	参加団体数	調査地点数
一級河川※ 1	11,091 人	251 団体	337 地点
その他の河川※ 2	23,654 人	749 団体	1,004 地点
合計	34,745 人	1,000 団体	1,341 地点

※ 1：一級河川大臣管理区間 ※ 2：一級河川都道府県管理区間及び二級河川等（※ 1 以外）

(2) 水質判定結果

令和 4 年度は、全調査地点の 88%の地点でⅠ（きれいな水）又はⅡ（ややきれいな水）と判定され、令和元年度（87%）より 1 ポイント高くなりました。

	一級河川	その他の河川	全調査地点
Ⅰ きれいな水	70%	64%	65%
Ⅱ ややきれいな水	25%	22%	23%
Ⅲ きたない水	3%	5%	5%
Ⅳ とてもきたない水	1%	4%	3%
判定不能	1%	5%	4%

※ 四捨五入による端数処理のため内数の合計が 100%にならないことがあります。

※ 判定不能：指標生物が見つからなかった場合等

※ 令和 2、3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国一律の調査は実施していません。

令和4年度全国水生生物調査結果

1. 参加人数及び参加団体数

令和4年度の参加人数は34,745人であった。

うち、一級河川※1は11,091人であり、その他の河川※2は23,654人であった。また、参加団体数は1,000団体で、うち一級河川は251団体であった。

参加団体別の参加人数は小学校での参加が最も多く、次いで各種団体、中学校の順番であった。

都道府県別の参加者数では岐阜県が最も多く、次いで岩手県、北海道の順番であった。

参加者数の多い都道府県

順位	都道府県名	参加人数	うち一級河川
1	岐阜	3,956	133
2	岩手	3,847	64
3	北海道	2,583	2,583
4	福島	2,457	416
5	愛知	1,671	11

※1一級河川大臣管理区間（以下「一級河川」と言う）

※2一級河川都道府県管理区間及び二級河川等※1以外の河川（以下「その他の河川」と言う）

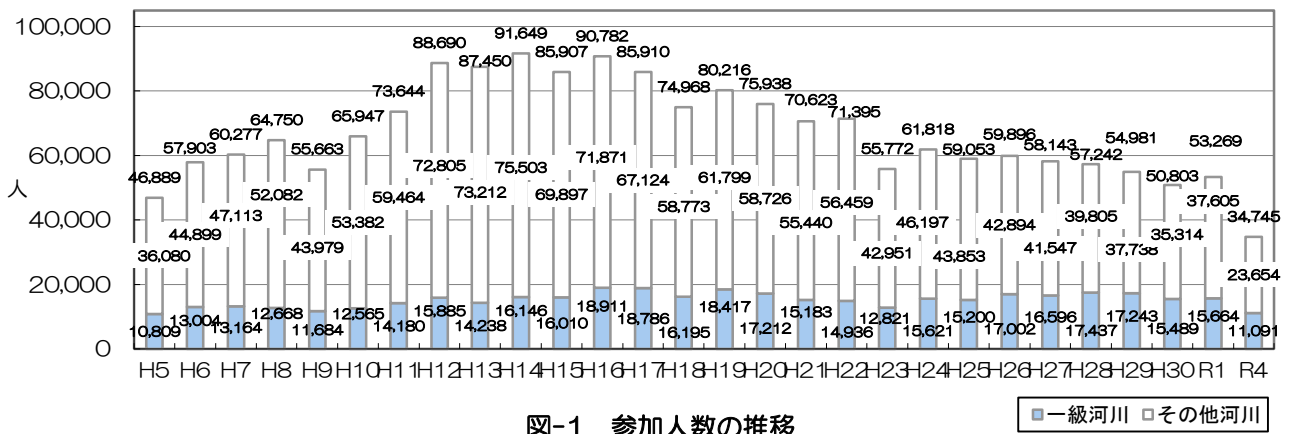


図-1 参加人数の推移

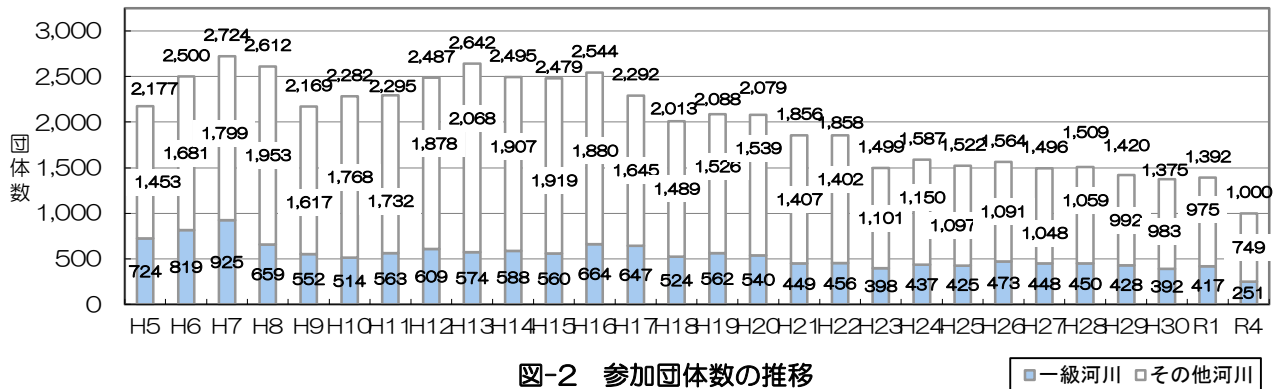


図-2 参加団体数の推移

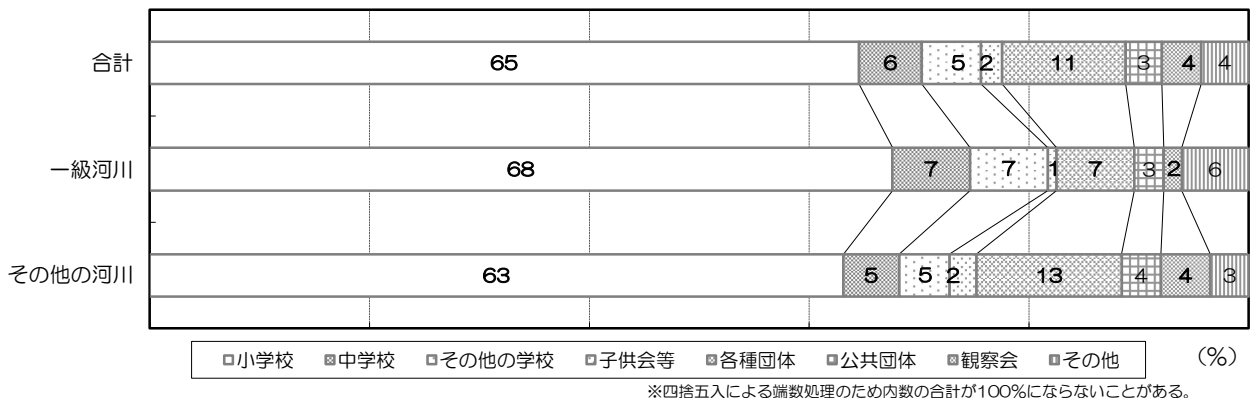


図-3 参加人数の団体種類別構成比

※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

2. 調査地点数

調査地点数は1,341地点であった。

内訳は、一級河川は337地点、その他の河川は1,004地点であった。

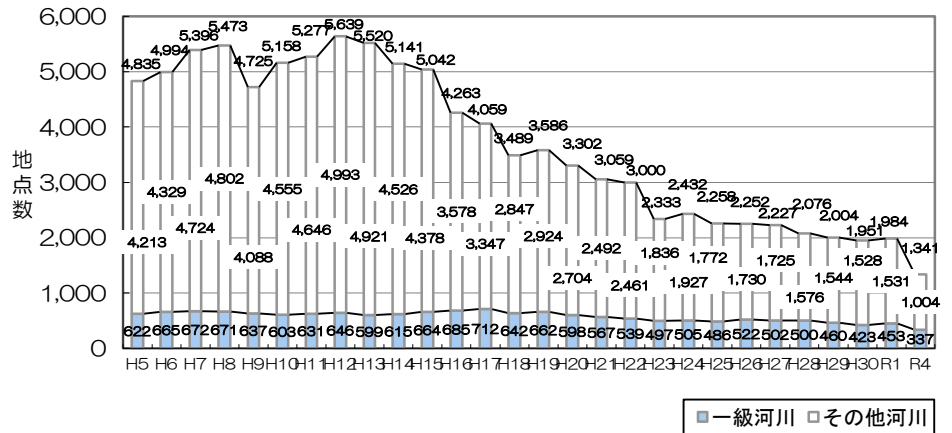
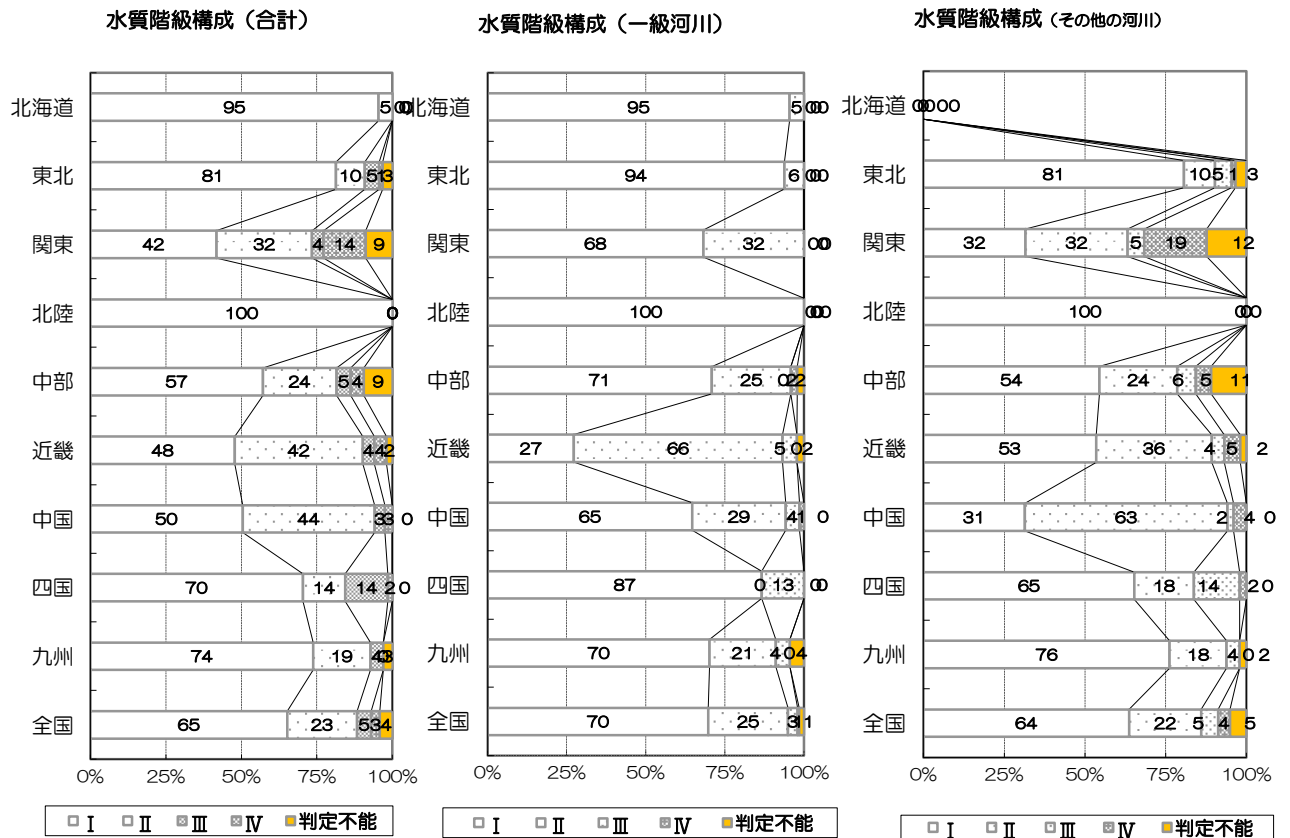


図-4 調査地点数の推移

3. 地域別水質階級構成（地域別の水質の状況）

本調査は、調査地点を参加者が任意に選定するため、我が国の河川の状況を正確に代表したものではない。しかし、多数の地点で調査されているため、全国の水質の状況を概括的に知ることができると考えられる。

令和4年度は、全国で水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が65%、Ⅱ（ややきれいな水）が23%、Ⅲ（きたない水）が5%、Ⅳ（とてもきたない水）が3%であった。



※判定不能の数値ラベルは図中表示していない。
四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

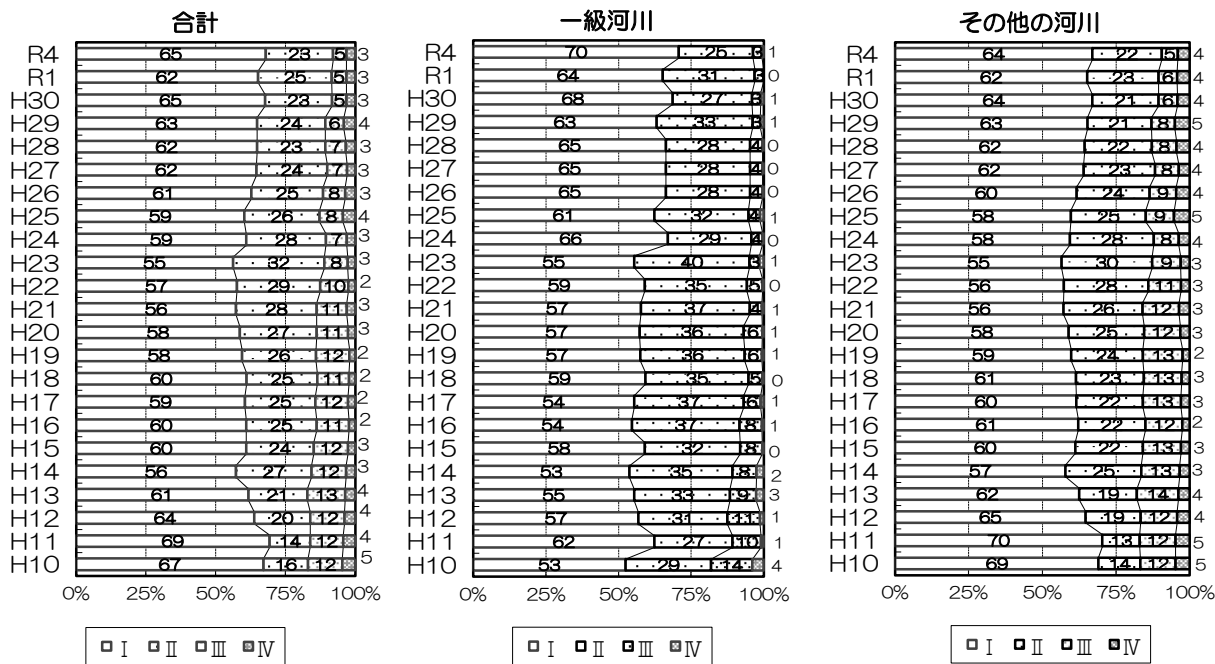
図-5 地域別水質階級構成比

4. 水質階級構成比の年次推移

全国の全調査地点の水質階級構成比を図6に示した。

I（きれいな水）又はII（ややきれいな水）と判定された地点の合計の割合は平成10年度以降、増加傾向となっている。本年度、I（きれいな水）又はII（ややきれいな水）と判定された地点の合計の割合は令和元年度より1ポイント高い88%であった。

なお、年次ごとの調査地点については相違しており、必ずしも同地点を比較したものではない。

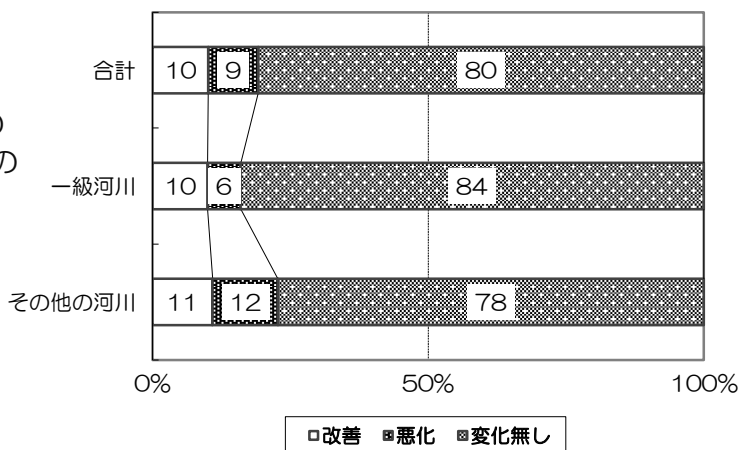


※1 判定不能地点の扱い及び四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。
 ※2 平成12年度から調査手法を変更しているため、平成12年度と平成11年度以前の厳密な比較はできない。
 ※3 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国一律の調査は実施していない。

図-6 水質階級構成比の年次推移

5. 令和元年度との比較

令和元年度と同じ地点で調査された560地点について比較すると、10%の地点が改善、9%の地点が悪化、80%の地点が同じ水質階級であった。



※1 四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。
 ※2 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国一律の調査は実施していない。

図-7 同一調査地点での令和元年度との比

全国水生生物調査の概要

【参考】

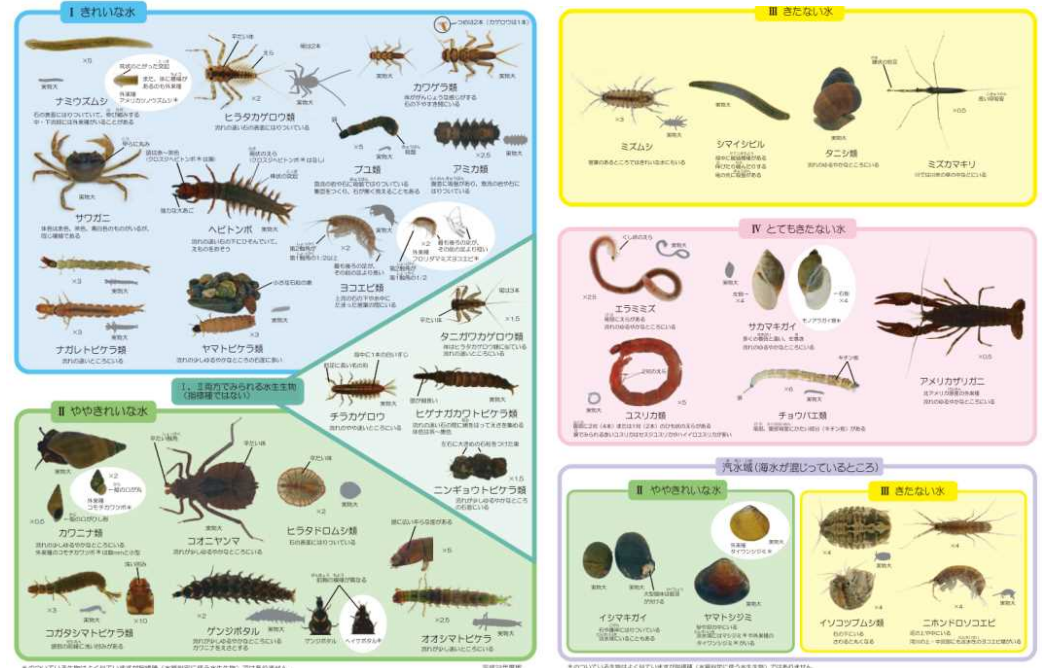
川の中には様々な生きものが住んでいます。特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、全国各地に広く分布し、分類が容易で、水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、(きれいな水)、(ややきれいな水)、(きたない水)、(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。



水質階級と指標生物



きれいな水 () の指標生物		ややきれいな水 () の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドROMシ類	ガンジボタル
ヤマトビケラ類	フユ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
きたない水 () の指標生物		とてもきたない水 () の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマクリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
ニホンドロソコエビ	イソコップムシ類	チョウバエ類	
両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) は海水の少し混ざっている汽水域の生物